



発行：一般社団法人くらサポート・ウィズ
 東京都新宿区大久保2-3-4 出光新宿ビル4階
 TEL:03-6205-6719 FAX :03-3200-6134
<http://www.kurashidial.or.jp/>

今年の夏、関東地方は記録的に雨の日が続きました。日照不足による農作物の成育不良で、野菜などの値段が大きく変動していますが、農林水産省の発表によると、9月後半には主要な野菜価格が平年並みに落ち着くそうです。

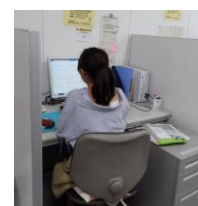
さて、くらサポート・ウィズには、8月29日～9月1日までの4日間、大学授業の一環で4名の実習をコーディネートし、内1名をウィズ自身へ受け入れました。そこで今回のニュースレターは実習を経験した学生の感想を掲載します。ぜひご一読いただき、感想や励ましのお言葉などいただくと幸いです。

私は教育学部で学ぶ大学2年の学生です。子どもの貧困が問題とされる現在の社会で、行政の金銭的な支援などとは別に貧困の子ども達やその家庭にたいしてどのような支援ができるのか、どのような取り組みが現在おこなわれているのかについて興味がありました。

しかし、これまで大学の授業や課題を通して、社会でどのようなことが問題になっているのかについて考えてきましたが、問題解決のため実際にどのようなことが出来るのかについては自分の中でまだ曖昧なままでした。

今回の実地研修で普段は見聞きすることの少ない協同についての概念について学び、多様な社会の在り方を考えた上で、ウィズの相談業務や他団体の若者支援の取り組みを見学させていただきました。相談業務では悩みを抱える人に対してどのような解決策を提案できるのかについて、若者支援の取り組みでは支援の具体的な段階や内容について学ぶことが出来ました。

新たに多くの知識を得たことはもちろん、人と人がつながり、ネットワークが広がることで一つの問題に取り組む様子を間近で目にしたことで自分がどのように社会に関わっていくのかについてより具体的に考えるきっかけとなる貴重な体験ができました。今回のプログラムに参加できてとても良かったです。



ウィズ HP 更新作業
もお願いしました！

8月29日見学先
 若者の社会的自立・自活支援をしている
 認定 NPO 法人文化学習協同ネットワーク
 (三鷹市)

※右枠囲み写真は同 NPO 法人 HP より抜粋



☆若者が仕事に就くまでの期間を経済的に支える取組を見学。

左写真のような出版物の原稿作成、デザイン、レイアウトなどの作業を中小企業と連携し行っている。

今さら聞けない・・・くらしの悩みなどどなたでもお気軽に相談できます。

くらしの相談ダイヤル 0570-055-656 (ナビダイヤル)
 03-6205-6719 (ナビダイヤルで通じない時)
 専門相談員が対応 平日10時～16時

- ・ふくしの心配ごと何でも相談 (第2水曜) 精神保健福祉士・社会保険福祉士
- ❖女性のための法律相談 (原則第2金曜) 田中弁護士
- ❖弁護士による無料電話法律相談 (原則第4水曜) 松本弁護士
- ❖カウンセラーとの個別相談@ほっこりカフェ (奇数月第4金曜) 臨床心理士

❖印は完全予約制です。詳細は、『くらしの相談ダイヤル』にお問い合わせください。

